

## 終禱

一同立ち、準備の黙禱の後に次の唱和を用いる。

司式者 願わくは全能の神、今夜われらを安らかにいこわせたまわんことを  
会衆 アーメン

司式者は次の聖語を朗読する。

兄弟よ、慎みて目をさましおれ。なんじらのあだなる悪魔、ほゆるししのごとく、経めぐりて、のむべきものを尋ね。なんじらの信仰を堅うして彼を防げ  
ペテロ前書五章八、九節

会衆 主に感謝し奉る

司式者 我らの助けは主の御名にあり  
会衆 主は天地を造りたまえり

一同ひざまずいて次の懺悔をする。ただしすでに晩禱序式または聖餐式準備で懺悔を用いたときは、これを省いて「神よ、すみやかに我らを救いたまえ」に移る。

父と子と聖霊なる全能の神よ、われら思いと言葉と行ないにて多くの罪を犯せしことを悲しみ懺悔し奉る。願わくは全能の神、我らをあわれみ、われらの罪をことごとく赦し、限りなき命に至らせたまわんことを。アーメン

司祭は立つて次のように言う。

願わくはあわれみ深き全能の神、なんじらの罪をことごとく赦し、聖霊の恵みと力とを与え、悔い改めにかのう新たなる生涯を送らしめたまわんことを  
会衆 アーメン

司式者 救いの神よ、我らを帰えしたまえ  
会衆 我らに向かい手御怒りをやめたまえ  
司式者 神よ、すみやかに我らを救いたまえ  
会衆 主よ、とく、きたりて我らを助けたまえ

一同立つて次のように言う。

父と子と聖霊に栄光あれ、始めにあり、今あり、世々限りなくあるなり アーメン

司式者 なんじら主をほめまつれ  
会衆 主の御名をほめまつるべし

ここで次の詩の全部または一部を歌いあるいは唱える。

#### 詩四篇

父と子と聖霊に 栄光あれ  
始めにあり、今あり 世々限りなくあるなり アーメン

#### 詩三十一篇一―五

父と子と聖霊に 栄光あれ  
始めにあり、今あり 世々限りなくあるなり アーメン

#### 詩九十一篇

父と子と聖霊に 栄光あれ  
始めにあり、今あり 世々限りなくあるなり アーメン

ここで次の聖歌を歌いまたは唱える。

- 一 このひも おわりぬ よの つくりぬしよ  
こよいも まもりて やすらに ふさせよ
- 二 サタナを しりぞけ おそれを のぞきて  
きよらに いこわせ みまもりを たまえ
- 三 みちちと みたまと とわに ひとつ なる  
みこイエスによりて いのり たてまつる アーメン

司式者は次の聖語を朗読する。

主よ、なんじは我らのうちにいます。我らはなんじの名をもととえらるる者なり。我  
らを捨てたもうなかれ エレミヤ記一四章九節

会衆 主に感謝奉る

司式者 神よ、我らをひとみのごとく守り  
会衆 主の翼のかげにかくしたまえ

次にシメオンの頌または詩百三十四篇を歌いあるいは唱える。

## シメオンの頌

主よ、今こそ御言葉にしたがつてしもべをやすらかに行かしたもうなれ  
我が目は、はや主の救いを見たり

これ、もろもろの民の前に備えたまいしもの  
異邦人を照らす光御民イサエルの栄光なり

父と子と聖霊に栄光あれ

始めにあり、今あり、世々限りなくあるなりアーメン

## 詩百三十四篇

父と子と聖霊に栄光あれ

始めにあり、今あり、世々限りなくあるなりアーメン

ここで一同ひざまづく

司式者

主よ、あわれみたまえ

会衆

キリストよ、あわれみたまえ

司式者

主よ、あわれみたまえ

一同、主の祈りを唱える。

天にします我らの父よ、願わくは御名を聖となさしめたまえ。御国をきたらしめたまえ。御心を天におけるごとく、地にも行わしめたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

我らに罪を犯すものを我ら赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわず、悪より救いだしたまえ アーメン

司式者

主よ、今夜われらを守りたまえ

会衆

罪を犯すことなからしめたまえ

司式者

主よ、我らの祈りをききたまえ

会衆

我らの声を主の御前に至らせたまえ

司式者

我ら祈るべし

いと高きみくらにいます主よ、願わくは天の光をもって夜の暗きを照らし、光の子とせられし我らを守りて、暗きわざに組することなからしめたまえ。主イエス・キリストによりてこいねがい奉る。アーメン

次に左の祈りまたはその他の祈りを用いてもよい。

生ける神の御子・イエスⅡキリストよ、主は墓にいこい、墓をきよめて御民のために望みの伏しどとなしたまえり。願わくは主の苦しみのもととなりし我らの罪を深くあわれみ、我らのからだ、ちりに伏すとき、我らの魂、主とともに生くることを得させたまえ。主は父と聖霊とともに一体の神にましまして世々限りなく統べ治めたもうなり。アーメン

あわれみ深き神よ、願わくはともにいまして目さむるまで我らを守り、このはかなき世にて疲れし我ら、とこしえに変わることなき主にたよりて安ろうことを得させたまえ主イエスⅡキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

次に左のように言う。

司式者	主よ、我らの祈りをききたまえ
会衆	我らの声を主の御前に至らせたまえ
司式者	我ら主を祝いまつらん
会衆	主に感謝し奉る
司式者	願わくは父と子と聖霊なる全能の神、我らをさきわい守りたまわんことを
会衆	アーメン